

二宮町環境審議会 会議次第

日 時 平成26年8月26日(火)

午後2時00分より

場 所 二宮町役場 第1会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 前回議事録の確認について

(2) 4. 計画の推進方策について

(3) VI 二宮町環境審議会の意見の取りまとめについて

【資料1、資料2】

(4) その他

4. 閉 会

二宮町環境審議会

(敬省略)

氏名	役職等	備考	任期	部会
高瀬 元春	地区長連絡協議会 会計	1号委員	H26.7.18～ H26.8.29	循環型社会の 実現部会
亀井 常彰	公募	1号委員	H24.8.30～ H26.8.29	循環型社会の 実現部会
岡田 幸次郎	公募	1号委員	H24.8.30～ H26.8.29	低炭素社会の 形成部会
古澤 有三	商工会 副会長	2号委員	H24.8.30～ H26.8.29	循環型社会の 実現部会
峯尾 博	農業委員	2号委員	H26.8.26～ H26.8.29	生物多様性の 保全部会
土谷 美智代	地球温暖化防止活動 推進員	3号委員	H24.8.30～ H26.8.29	低炭素社会の 形成部会
藤田 成吉	東海大学教養学部 人間環境学科 元教授	3号委員	H24.8.30～ H26.8.29	全体
三橋 智子	議会議員	3号委員	H24.8.30～ H26.8.29	生物多様性の 保全部会
久保田 秀実	山西小学校 校長	3号委員	H26.7.18～ H26.8.29	低炭素社会の 形成部会
内山 和子	神奈川県環境科学 センター 調査研究部長	3号委員	H26.7.18～ H26.8.29	生物多様性の 保全部会

二宮町環境審議会規則

第2条第2項

- (1) 町民
- (2) 事業者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) その他町長が必要と認めたもの

VI 平成 25 年度進捗状況に対する二宮町環境審議会の意見（案）

（平成 26 年 9 月 30 日）

1. はじめに

二宮町環境審議会は、「二宮町第二次環境基本計画」に基づく「前期実施計画」の平成 25 年度実施状況について審議し、次のとおり意見を取りまとめました。

つきましては、当該意見に配慮され、平成 26 年度計画の実施及び平成 27 年度計画の作成に取り組んでいただきたいと思います。

2. 実施状況全般について

「前期実施計画」の 2 年度目に当たる平成 25 年度の実施状況は、PDCA サイクルによる継続的な改善もあって全般的には概ね良好と認められます。

なお、今後の取組みにおいては「中期実施計画」（平成 28～30 年度）の作成作業も視野に入れつつ、次の点について検討をお願いします。

- ① 多面的な効果を有する施策事業の目標の設定及び評価の視点・方法については、当該事業の内容を具体的に把握した上で、その環境側面を中心に再検討する必要があると考えられます。
- ② 各事業の個々の実施・評価に止まらず、基本目標に基づく基本施策間の相互関係や基本目標間のそれにも着目し、各事業の連携協力による相乗効果を引き出すことにより「環境共生型まちづくり」が効果的に進められることが期待されます。
- ③ （町民・事業者・町の協力について・・・、議論後に追加）

3. 生物多様性の保全について

この生物多様性の保全という大括りな「基本目標」の中には、自然環境とのふれあい事業、自然環境の再生事業、環境に依拠した地域の活性化や産業（農業、漁業、観光など）の活性化なども含まれていますので、上記 2. 実施状況全般についての①や②にも留意し以下の点について再検討をお願いします。

- ① 「吾妻山の保全と魅力の向上」（1-1.）については、観光要素の評価に偏っていますので、遊具等の導入や開発が吾妻山の生物多様性に影響が無いか、また、観光客が一時期に集中することによる環境への影響の有無などという視点からの評価も加えると良いと思われれます。
- ② 「公園等管理運営事業・公園等維持整備事業」（1-1.①）については、町の観光協会なども連携協力の対象にした方が良いと思われれます。
また、吾妻山公園の登り口を中心に募金箱を増設し、集まったお金を公園管理費として使用することなどを検討してはいかがでしょうか。*
- ③ 「公園等管理運営事業・公園等維持整備事業」（1-1.①）では、吾妻山公園は「植

生、動物の生息状況に応じた公園管理をする」となっています。芝桜は外来種なので、「吾妻山の新たな整備事業の実施」（1-1.②）で芝桜エリアを整備したことは生物多様性の保全という意味では矛盾しています。

- ④ 基本施策に対する評価の視点に「動植物の保全」とあるので、「丘陵地や谷戸などの保全」（1-2.）については、蝶、鳥、ホタル以外の虫などの動物についての内容も入れてはいかがでしょうか。
- ⑤ 里山再生育成事業（1-2.①）については、ホタルの里の水田の広がりなどを里山の外延と捉えて、高く評価しても良いのではないのでしょうか。
- ⑥ 「二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会」（1-2.⑥）については、町の対応やボランティアとの連携が分かり、前年度の審議会意見が活かされています。
- ⑦ 農地・農業については、「中期実施計画」の作成に向けて、基本施策として「環境保全型農業」という項目を検討してみてもどうでしょうか。*
- ⑧ 「水と親しめる葛川の再生」（1-3.）について、葛川は比較的、現状維持されています。現状を維持することはとても大変なことなので、もっと評価しても良いと思われます。
- ⑨ 「葛川改修計画（県）」（1-3.⑧）については、自然災害への対応ができています。
- ⑩ 「海岸清掃（かながわ海岸美化財団）について」（1-4.②）は、前年度の審議会意見を受け、ごみの回収量を「年々増加していくことをめざす。」に修正してありますが、今年度実績を見ると一概にごみの量で評価することが難しいとわかりました。目標設定について再考をお願いします。
また、この里海の保全事業は「2.循環型社会の実現」の事業との関連づけも検討する必要があると思います。
なお、国の直轄事業（平成 26～43 年度）による海岸保全・砂浜再生に期待するとともに、地元の意見の反映にも取り組んで下さい。*
- ⑪ 「良好な自然を象徴する動植物の保全について」（1-5.）は、まとまりがあり良いと思います。
- ⑫ 「動物の適正管理」（1-5.⑤）について、二宮町は外来種の捕獲に対する理解があり評価できますが、評価の中に山続きになっている近隣自治体との連携の視点を入れてはいかがでしょうか。

4. 循環型社会の実現について

循環型社会の実現のためには、町民一人ひとりが、また各事業者や町の各部局がそれぞれ取り組むとともに、地域レベルや関連する事業者、関係部局が連携協力し、ステップ・バイ・ステップで進めていくことが求められます。

以上のような視点にも留意し、次の点について再検討をお願いします。

- ① 「ごみ減量化推進事業」(2-1.①)については、事業者が増えた場合、1人1日あたりのごみ総排出量という指標に問題が出る可能性があるため、事業系一般廃棄物の取扱いを含め、再考するべきではないでしょうか。
- ② 「水分もうひとしぼり運動」(2-1.②)については、地域説明会での運動は効果があったと考えます。ごみの出し方が変わると水分の出方が変わると思います。ごみ処理広域化後も目標値はこのままで良いのか検討が必要と考えます。
- ③ 「マイバッグ・マイボトル等の啓発」(2-1.③)については、マイバッグの利用を促すよう、より積極的な町の施策が必要ではないでしょうか。
- ④ 「ごみ減量化推進協議会による推進」(2-1.④)については、実効的な協議会活動であり評価できます。
- ⑤ 「簡易粉砕機導入(剪定枝)」(2-2.①)については、事業趣旨を含めた宣伝及び利用率が下がった理由の検証が必要であると考えます。
- ⑥ 「生ごみ堆肥化容器購入補助金」(2-2.③)については、生ごみ処理機の新たな需要を生み出すために余った堆肥の受け入れルートを作るなど、工夫をする必要があります。
- ⑦ 上記⑤⑥に関連し、各家庭でのリサイクル⇒地域内リサイクル⇒事業所を含む地域間リサイクルへと、リサイクルチェーンを一步一步きめ細かく着実に形成していくことも検討してはどうでしょうか。
- ⑧ 「町内でのリユース・リサイクルの推進」(2-2.②)については、チャイルドシート等に対象を絞った「子ども用品活用バンク」の制度化、広報紙等への「差し上げますコーナー」の掲載など、工夫して実施されてはいかがでしょうか。
- ⑨ 「グリーン購入の推進」(2-2.⑤)については、分かりやすいホームページの作成が必要と考えます。
また、低炭素化に資する取組みでもありますので、中期実施計画に向けて連携策の検討をお願いします。
- ⑩ 「道路改良改修工事(リサイクル路盤材を使用)」(2-2.⑥)については、リサイクル材を使用した工事を100%行っているため、中期はこの事業を環境基本計画実施計画に入れる必要があるか検討してください。
- ⑪ 「ごみ置場散乱防止対策(カラスネット配布)」(2-3.②)については、カラスネットの配布枚数以外に、苦情件数を指標にしていくことも考えられます。
- ⑫ 「地元産品の消費促進」(2-5.①)について、農産物を主体とした朝市を促進してはいかがでしょうか。

5. 低炭素社会の形成について

低炭素社会の形成は、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関わる多くの取組と関連していますので、中期実施計画の作成に向けて基本目標や基本

施策下の各種事業をどのように横断的に連携させるか、検討を進める必要があると思われます。

また、基本施策の中の緑化、公園、屋敷林、生垣、屋上緑化、壁面緑化、グリーンカーテン、雨水利用、透水樹、透水性舗装などは「グリーンインフラストラクチャー」（緑の社会資本、略称「グリーンインフラ」）というコンセプトで捉え、基本施策に位置づけることなども考えられます。*

以上のような課題にも留意しつつ、次の点について再検討をお願いします。

- ① 「公用車におけるエコカーの導入」（3-1.③）については、公用車に電気自動車を導入したり、充電設備を設置したりすることが今後の課題となっていますが、国、県及びメーカーの補助が行われている前期中の導入を検討してください。
- ② 「公共交通への利用転換の促進」（3-1.⑥）については、利用実績の調査データを活用し、町内の公共施設等を結ぶネットワークを日帰り観光の町づくりと併せて考え、ニーズに合った効率的な運行ルートを検討してはどうでしょうか。今以上に「環境」の視点を取り入れた事業実施をお願いします。
また、子どもを対象とした公共交通に関する教育を行ってはいかがでしょうか。
- ③ 「太陽光エネルギー（ソーラー・温水器など）利用の啓発」（3-2.①）については、住宅リフォーム助成制度を、より利用しやすいものにする必要があると考えます。
- ④ 「自然エネルギーに関する情報収集・提供【新規】」（3-2.②）については、太陽光発電システムの普及率を目標値にしてはいかがでしょうか。
- ⑤ 「緑化や雨水利用などによる環境の保全」（3-3.）については、雨水等の活用を検討し、低炭素社会の形成に繋がるように意識して事業に取り組むことと、水道水を節約することがCO₂削減に繋がることの啓発が必要ではないでしょうか。
中期に向けて、節水を推進するような事業を検討してください。
「建築物の緑化の推進」（3-3.①）や「花いっぱい運動普及事業（植栽）」（3-3.②）は、「生ごみ堆肥化容器購入補助金」（2-2.③）の事業と結び付け、堆肥の有効活用を図ってはいかがでしょうか。*
- ⑥ 環境保全による安全なまちづくり（3-4.）については、中期の事業として減災の視点から内水氾濫の防止を入れてください。
また、環境と防災を関連づけた普及啓発を可能とする教育プログラムの考案、事業の立案等を検討してはいかがでしょうか。*
- ⑦ コンパクトな町であることを有効活用し、太陽光発電システム、電気自動車の導入や充電設備の設置等、新エネルギーの活用及び自家用車に頼らない公共交通への利用転換等をエコロジーのネットワークとしてまとめる枠組みづくりを中期に向けて検討する必要があると考えます。
- ⑧ 中期、後期において、太陽光発電システムだけではなく、水力、風力及び潮力な

どの新エネルギーの活用について事業化することを検討してはいかがでしょうか。

6. 計画の推進方策について

第2回 環境審議会で検討

第2次環境基本計画実施計画評価シート

担当部課等名	町民生活部 生活環境課
基本目標	2. 循環型社会の実現
基本施策	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進

No.	①	事業名	二宮町一般廃棄物処理基本計画の策定・推進		
事業内容	計画的な清掃行政を行い、循環型社会の構築に努めるため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に規定する一般廃棄物処理基本計画を策定・推進する。				
連携・協力	町民・事業者・行政				

基本施策に対する評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理基本計画に基づいた適正なごみの分別収集、処理処分が進められているか。 ごみの分別、ごみ散乱防止など地域ごとの積極的な取組を支援しているか。
---------------	---

数値指標	計画の総排出原単位、可燃ごみ削減率、資源化率、埋立率の4つの目標数値の達成率とする。			
前期(27年度)目標値	100%	【目標値の根拠】 本計画では大きく4つの目標数値を定めている為、各年度の目標数値が達成しているか否かを達成率を目標値とする。1項目達成していれば25%の達成率とする。		
実績値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	50%	75%		

評価指標	<p>A: 事業の目的を達成できた、または同等の成果が得られた。 B: 計画通り実施し、一定の成果が得られた。 C: 計画通り実施できず、ほとんど成果が得られなかった。 D: 計画未実施</p>
------	--

平成24年度	事業計画	本計画に基づき、①～④の平成24年度目標値達成を目指す。 ①1人1日当たりのごみ総排出量 855.2g以下 ②可燃ごみの削減率 平成18年度比△23.6%以上 ③資源化率 34.9%以上 ④埋立率 6.9%以下
	実績(実施状況)	本計画に基づき、①～④の平成24年度目標値達成を目指した。 ①1人1日当たりのごみ総排出量 847.5g ②可燃ごみの削減率 平成18年度比△23.3% ③資源化率 41.2% ④埋立率 7.6%
	評価	B 【説明】 ①ごみ総排出量及び③資源化率については、大きく目標を上回ったが、②可燃ごみの削減率及び④埋立率については、目標を達成することが出来なかったため
	今後の課題	②可燃ごみの削減については、水分のひとしぼり運動などを含む3Rを推進し、目標達成を目指す。④埋立率については、処理方法に起因するものが大きい、「可燃ごみ」及び陶器等の「その他ごみ」を減らすことで、埋立率を減少させることができるため、ごみ総排出量に対する減量化施策に取り組む必要がある。
	環境審議会意見	
	町の対応	

平成25年度	事業計画	<p>平成25年度目標値:100%</p> <p>本計画に基づき、ごみ減量化施策を実施する。</p> <p>①1人1日当たりのごみ総排出量 851g以下</p> <p>②可燃ごみの削減率 平成18年度比△24.9%以上</p> <p>③資源化率 35.0%以上</p> <p>④埋立率 6.9%以下</p>
	実績 (実施状況)	<p>本計画に基づき、①～④の平成25年度目標値達成を目指した。</p> <p>①1人1日当たりのごみ総排出量 829.0g</p> <p>②可燃ごみの削減率 平成18年度比△24.9%</p> <p>③資源化率 40.1%</p> <p>④埋立率 7.7%</p>
	評価	<p>A</p> <p>【説明】 小学校の運動会などでの水分もうひとしぼりキャンペーンや地域説明会の実施などにより、昨年度達成できなかった可燃ごみの削減目標を達成することができた。</p>
	今後の課題	<p>埋め立てをしている主なものは焼却灰である。引き続き、可燃ごみ削減をするとともに焼却灰の資源化に取り組む必要がある。</p>
	環境審議会意見	
	町の対応	
平成26年度	事業計画	<p>平成26年度目標値:100%</p> <p>本計画に基づき、ごみ減量化施策を実施する。</p> <p>①1人1日当たりのごみ総排出量 844.3g以下</p> <p>②可燃ごみの削減率 平成18年度比△26.2%以上</p> <p>③資源化率 35.1%以上</p> <p>④埋立率 6.9%以下</p>
	実績 (実施状況)	
	評価	<p>【説明】</p>
	今後の課題	
	環境審議会意見	
	町の対応	
平成27年度	事業計画	<p>平成27年度目標値:100%</p> <p>本計画に基づき、ごみ減量化施策を実施する。</p> <p>①1人1日当たりのごみ総排出量 838.8g以下</p> <p>②可燃ごみの削減率 平成18年度比△26.3%以上</p> <p>③資源化率 35.3%以上</p> <p>④埋立率 7.7%以下</p>
	実績 (実施状況)	
	評価	<p>【説明】</p>
	中期実施計画に向けた課題	
	環境審議会意見	
	町の対応	

1【生物多様性の保全】 多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち

基本施策	取組み・事業等	意見	町の対応
1-1 吾妻山の保全と 魅力の向上	①公園等管理運営事業・公園等維持整備事業	<ul style="list-style-type: none"> この事業は観光とリンクしていると思うので、町の観光協会なども連携協力の対象にした方が良いと思う。 今後の課題に「新たな施設の維持管理や樹木等の適切な維持管理を効率よく実施することを考える必要がある。」とあるが、具体的にどのように効率が良くないのか、どこに問題があるのか教えていただきたい。 4、5、6月の吾妻山公園への来園者数は、昨年度に比べ増えているか。数値を把握していれば知りたい。 吾妻山公園の登り口を中心に募金箱を増設し、集まったお金を公園管理費として使用してはどうか。* 	
	②吾妻山の新たな整備事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 吾妻山公園再整備計画は今後も進行していくか。 「公園等管理運営事業・公園等維持整備事業」(1-1.①)では、吾妻山公園は「植生、動物の生息状況に応じた公園管理をする」となっている。芝桜は外来種なので、「吾妻山の新たな整備事業の実施」(1-1.②)で芝桜エリアを整備したことは生物多様性の保全という意味では矛盾している。 	
1-2 丘陵地や谷戸な どの保全	①里山再生育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 水田の広がりを里山の拡大として評価し、高く評価しても良いのではないかと。Bというのは評価が辛い。農業委員会から見ると、もう少し良い評価が欲しい。 	
	②土地改良事業（農道整備）	<ul style="list-style-type: none"> 農道の整備率0%で評価がBだが、0%ならばCではないか。 	
	③ふれあい農園事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度実績の欄に、区画数、面積の数値を記載してほしい。* 	
	⑤緑の基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度実績の欄に、整備面積等具体的数値を記載してほしい。* 	
	⑥二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会	<ul style="list-style-type: none"> 評価シートに町の対応やボランティアとの連携が記載されており、前年度の審議会意見が活かされている。 前期（27年度）目標値でホタル出現数が600頭と記載してあるが、実績は目標値をかなりオーバーしている。目標値を考え直すということではなくて良いのか。 	
1-4 二宮海岸の保全 と魅力の向上	②海岸清掃（かながわ海岸美化財団）	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の審議会意見を受け、ごみの回収量を「年々増加していくことをめざす。」に修正してあるが、今年度実績を見ると一概にごみの量で評価することが難しいとわかる。目標設定について再考願う。 この事業は「2.循環型社会の実現」の事業ではないか。 	
	③松の保全事業	<ul style="list-style-type: none"> 単独では良く対応、フォローされているが、開発行為に認定されると全く無視され、折角植樹した新種の松も伐採されている。開発行為の認定時にアセスメントを行う(強化の)必要性がある。* 	
	④朝市や地引網等による二宮海岸の魅力向上【新規】	<ul style="list-style-type: none"> なぜ数値指標が朝市の来場者数なのか、また、目標値を平成24年度の実績値100人の2倍の200人にしたのか。 	
1-5 良好な自然を象 徴する動植物の 保全	③保存樹林等補助事業	<ul style="list-style-type: none"> 単独では良く対応、フォローされているが、開発行為に認定されると全く無視され、折角植樹した指定大木も伐採されている。開発行為の認定時にアセスメントを行う(強化の)必要性がある。* 	
	⑤動物の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> 二宮町は外来種の捕獲に対する理解があり評価できる。 評価の中に山続きになっている近隣自治体との連携の視点を評価シートに入れてはどうか。 	

1【生物多様性の保全】 多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち 全体 進捗、評価、課題等についての意見	・「吾妻山の保全と魅力の向上」(1-1.)については、観光要素の評価に偏っているので、遊具等の導入や開発が吾妻山の生物多様性に影響が無いか、という視点からの評価も加えると良いと思う。
	・基本施策に対する評価の視点に「動植物の保全」とあるので、「丘陵地や谷戸などの保全」(1-2.)については、ホタル以外の虫、蝶、鳥などの動物についての内容も入れてはどうか。
	・「水と親しめる葛川の再生」(1-3.)について、葛川は比較的現状維持されている。現状を維持することはとても大変なことなのでもっと高く評価しても良いと思われる。

2【循環型社会の実現】環境にやさしい循環型のまち

基本施策	取組み・事業等	意見	意見
2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	①ごみ減量化推進事業	・事業者が増えた場合、1人1日あたりのごみ総排出量という指標に問題が出る可能性があるため、再考するべきではないか。	
	②水分もうひとしぼり運動	・地域説明会での運動は効果があったと考える。 ・ごみの出し方が変わると水分の出方が変わると思う。ごみ処理広域化後も目標値はこのままで良いのか検討が必要である。 ・平成26年度1回目の地域説明会で、水分もうひとしぼりの話がなかったことは良くなかった。2回目は是非話をしてほしい。	
	③マイバック・マイボトル等の啓発【新規】	・マイバックの利用を促すような町の施策が必要ではないか。	
2-2 リユースやリサイクルの促進	①簡易粉碎機の貸出（剪定枝）	・事業趣旨を含めた宣伝及び利用率が下がった理由の検証が必要である。	
	②町内でのリユース・リサイクルの推進	・チャイルドシート等に対象を絞った「子ども用品活用バンク」の制度化、広報紙等への「差し上げますコーナー」の掲載など、工夫して実施してはどうか。	
	③生ごみ堆肥化容器購入補助金	・生ごみ処理機の新たな需要を生み出すために余った堆肥の受け入れルートを作るなど、工夫をする必要がある。	
	⑤グリーン購入の推進	・分かりやすいホームページの作成が必要である。ホームページのアクセス数もわかるようにしてほしい。	
	⑥道路改良改修工事（リサイクル路盤材を使用）	・リサイクル材を使用した工事を100%行っているため、中期はこの事業を環境基本計画実施計画に入れる必要がないのではないかと。	
2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	②ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）	・カラスネットの配布枚数以外に、苦情件数を指標にしていくことも考えられる。	
2-5 地産地消の促進	①地元産品の消費促進【新規】	・「地元産品の消費促進」(2-5.①)について、農産物を主体とした朝市を促進してはどうか。	

3【低炭素社会の形成】地球環境の保全に取り組むまち

基本施策	取組み・事業等	意見	意見
3-1 省資源・省エネルギー活動の促進	③公用車におけるエコカーの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車に電気自動車を導入したり、充電設備を設置したりすることが今後の課題となっているが、国、県及びメーカーの補助が行われている前期中の導入を検討してほしい。 	
	⑥公共交通への利用転換の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画に基づきコミュニティバスの乗車人数の目標値を設定したとあるが、100人という数値の根拠がわからない。 ・目標に対する実績を見てBという評価に疑問がある。 ・コミュニティバスと神奈中バスの料金に差があり、利用者が減っているのではないかと。料金の検討はしないのか。 ・民営バスの乗降客数を町独自で調査しコミュニティバス事業に反映させてほしい。 ・どうしたらコミュニティバスを利用してもらえるかという視点が無い。乳幼児を育てている人が子育てサロンを利用するために、ベビーカーを利用したまま乗れるようにしてはどうか。 ・コミュニティバスやデマンドタクシーを、CO₂の少ない車種に変更するような働きかけもあると思う。 ・利用実績の調査データを活用し、町内の公共施設等を結ぶネットワークを日帰り観光の町づくりと併せて考え、ニーズに合った効率的な運行ルートを検討してほしい。 ・今以上に「環境」の視点を取り入れた事業実施を願う。 ・子どもを対象とした公共交通に関する教育を行ってはどうか。 	
3-2 自然エネルギーの活用	①太陽光エネルギー（ソーラー・温水器など）利用の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮町の補助金は活用しづらいので、補助金の併用ができないこと、町の業者でないとうと利用できないことを見直してほしい。 	
	②自然エネルギーに関する情報収集・提供【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムの普及率を目標値にしてはどうか。 	
3-3 緑化や雨水利用などによる環境の保全	①建築物の緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・水やりにたくさんの上水を利用しているなら、CO₂を出していることになり低炭素社会の形成に反する。雨水等の活用を検討出来ないか。 	
	②花いっぱい運動普及事業（植栽）	<ul style="list-style-type: none"> ・水やりにたくさんの上水を利用しているなら、CO₂を出していることになり低炭素社会の形成に反する。雨水等の活用を検討出来ないか。 	
3【低炭素社会の形成】地球環境の保全に取り組むまち 全体進捗、評価、課題等についての意見		<ul style="list-style-type: none"> ・「緑化や雨水利用などによる環境の保全」（3-3）については、雨水等の活用を検討し、低炭素社会の形成に繋がるように意識して事業に取り組むことと、水道水を節約することがCO₂削減に繋がることの啓発が必要ではないか。中期に向けて、節水を推進するような事業を検討してほしい。 ・環境保全による安全なまちづくり（3-4.）については、中期の事業として減災の視点から内水氾濫の防止を入れてほしい。 また、環境と防災を関連づけた普及啓発を可能とする教育プログラムの考案、事業の立案等を検討してはどうか。 ・太陽光発電システム、電気自動車の導入や充電設備の設置等、新エネルギーの活用及び自家用車に頼らない公共交通への利用転換等をエコロジーのネットワークとしてまとめる枠組みづくりを中期に向けて検討する必要がある。 ・中期、後期に向けて、新エネルギーとして水力、風力、潮力も考えるべきではないか。 	

4【計画の推進方策】3つの基本目標に共通する取組み

基本施策	取組み・事業等	意見	意見
・・・			

<p>平成24年度二宮町第二次環境基本計画 実施計画 全体進捗、評価、課題等 についての意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの、連携・協力を「神奈川県」や「県」と記載してあり、統一されていない。 ・既に数値指標の前期（27年度）目標値を大幅に上回り、達成している事業について、目標値の見直しが必要かどうか再確認し、必要である場合は中期に向け変更してはどうか。 ・数値を記載できるものはできるだけ記載してほしい。 	
--	---	--